

一般撮影

◆一般撮影とは

放射線（X線）を用いて胸部・腹部・骨部など全身を撮影する検査で、古くから行われている画像診断の基本となる大切な検査です。レントゲンや単純撮影と呼ばれています。

◆装置の紹介

1. 単純 X 線装置 島津製作所社製（長尺撮影・断層）
2. 単純 X 線装置 島津製作所社製（FPD コニカミノルタ社製）2 部屋
3. 単純 X 線装置 島津製作所社製（FPD 富士フィルム社製）
4. 歯科専用装置 株式会社ヨシダ社製
5. 骨密度装置 GE ヘルスケア社製

当院では全室に検出能力の高いフラットパネルディテクタ（FPD）検出器を導入しています。これにより以前より少ないX線量で高画質な撮影が可能であり、被ばく低減に努めています。

◆検査の種類

単純撮影

胸部（肺・心臓）、腹部（胃腸の空気）や骨部（骨折・腫瘍）などを知ることができます。その他、脊椎全長（頸椎から腰椎）や下肢全長（股関節から足関節）のように長さのある部位の全体像の撮影が可能で、側弯症の診断や下肢全体の撮影が短時間で撮影できます



特殊検査

● 歯科撮影

パントモ撮影は、装置が顔の周りを回りながら 12 秒程度で顎全体を撮影します。主に歯全体の様子や上下の歯及び歯周組織、上顎骨や下顎骨の状態を観る目的で行います。他に頭部X線規格撮影（セファロ）や歯科領域専用の CT 撮影があります。



◆ 検査について

検査時間は撮影部位や撮影枚数によって異なりが、5 から 15 分程度です。撮影する部位によってメガネ、ピアス、ネックレスなどの金属類やプラスチックなどを外して頂きます。

2025 年 4 月 最新の骨密度装置を導入しました

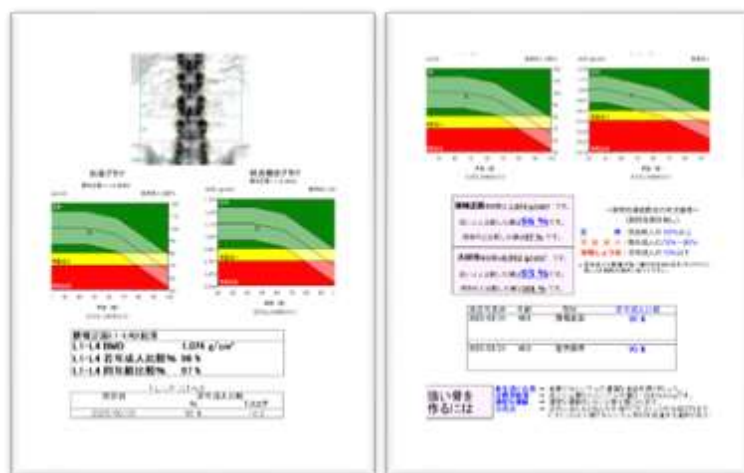


『PRODIGY FUGA-C』 GE ヘルスケア社製

以前と比べ高精度の画像を得ることができ、被ばく量が軽減されました。また、腰椎および大腿骨の測定を1回のポジショニングで測定可能となり、検査時間の短縮だけでなく、姿勢維持などのストレスも軽減されました。

◆骨密度検査とは

骨に含まれるカルシウムやミネラルの量を測定する検査です。これらの成分が不足すると骨がもろくなり、骨折しやすくなります。この検査によって骨粗鬆症や代謝性骨疾患の診断が可能です。当院では測定精度が非常に高い DEXA (Dual Energy X-ray Absorptiometry) 法にて測定を行っており、迅速かつ精度の高い測定ができます。



◆検査部位

腰椎と大腿骨頸部を測定、場合により腰椎のみを測定します。腰椎や大腿骨頸部は骨粗鬆症による骨折の頻度が高い部位であり、これらの部位を測定することで直接的に骨の状態を評価することができます。

◆検査の流れ

金属類やプラスチック、はり薬などを外していただき、検査台に仰向けで寝ていただきます。測定中は体を動かさないようお願いします。検査時間は10分程度となります。